文化芸術担い手育成事業

県全体における創作活動を行う県民の割合は45％である一方、本市における市民の割合は２割と少ない。県の調査においては、過去1年間に文化芸術活動を行わなかった理由として「きっかけがないため」が最も多く、42.3％を占めた。
そこで、初心者向け連続講座をなるべく安価で、市内各地にて実施することで、創作活動のきっかけを増やすとともにその後の継続的な活動へと繋げ、ひいては市の文化芸術を牽引する担い手となってもらうことを目指す。

資料②

１.背景

1 草津市文化振興計画

基本施策4「文化活動を担う人材の育成および活用」
→文化を支える担い手が育ち、活躍できる土壌を整備する。

2 令和６年度ホールで実施された連続講座（アートスクール）

絵画・書・立体の3つの創作分野において、初心者向けの
連続講座を実施。講座の中で制作した作品は、草津市芸術祭の中で展示を行った。

各講座定員：10名程度（定員計30名）
開催場所：クレアホール

参加者数実績…
・絵画（参加者11名）
・書（参加者6名）
・立体（参加者10名）

２.実施内容

◆ポイント
・創作系講座だけでなく、様々な芸術分野を対象とする。
・世代や住む地域に関わらず誰もが気軽に受講できるよう、開催日時・場所、実施回数等を検討することで、参加者の拡充を図る（定員80名）。
・市内の文化団体等と連携して実施する。
・アートセンターの機能を活用しながら実施する。

創作	伝統芸能	地元アーティスト連携
（美術協会等と連携）	（文化協会等と連携）	
2講座（まちセン、アミカ）	1講座（クレア）	1講座（まちセン）
各４回、合計８回、展示	全８回＋リハーサル、披露	全８回＋リハーサル、披露
各定員20名	定員20名	定員20名

市が行うこと

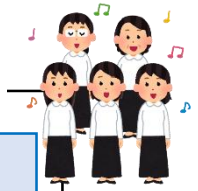
・事業費の負担
・各まちづくりセンターの意見を踏まえた講座のマッチング
・広報くさつ等を活用した情報発信

まちづくりセンターが行うこと

・会場の提供　・広報への協力
・自主教室等参加希望者の橋渡し

希望されるまちづくりセンターと相談し（年間2～3センター）
開催講座を決定

表　現	邦楽、邦舞等の伝統芸能 合唱やショークワイア等の歌や踊り
ものづくり	書、洋画、日本画、工芸、彫刻、写真、 デジタルアート等



【期待する効果】

◇継続的な文化芸術活動の実施
→新たなコミュニティの形成
→まちづくりセンター自主教室への参加
→講師主催の教室等への参加

◇地元アーティスト活躍の土壌づくり
→講師主催の教室等への参加

◇市関連の文化芸術事業への参加増
→市美術展覧会や芸術祭への出展・出演